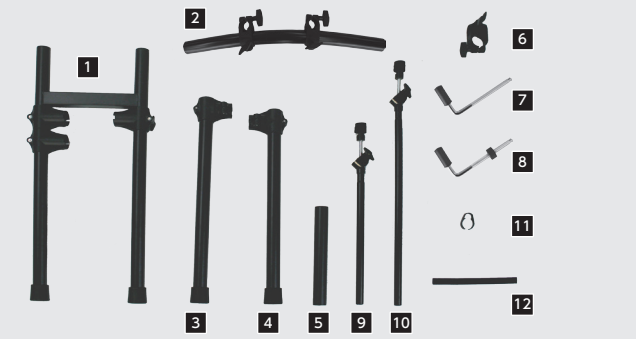


01

同梱物を確認しよう

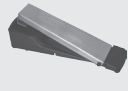
パッケージを開けたら、すべてのものが入っているか確認してください。不足している場合は、お買い上げになった販売店にお問い合わせください。
※ このパッケージには、キック・ペダルは含まれていません。市販のものをお使いください。

スタンド



番号	名称	個数
1	本体	1
2	カーブ・パイプ	2
3	ストレート・パイプ L (短)	1
4	ストレート・パイプ R (短)	1
5	スネア・パイプ	1
6	マウント・ホルダー	3
7	パッド・マウント	3
8	パッド・マウント (メモリー・クランプ付き)	1
9	シンバル・マウント (短)	2
10	シンバル・マウント (長)	1
11	ケーブル・クリップ	4
12	ケーブル・タイ	2

音源 / パッド / その他



□ ハイハット・コントロール・ペダル



□ キック・パッド



□ シンバル・パッド
ハイハット/ライド・クラッシュ用 (CY-5 × 3)



□ V パッド スネア用 (PDX-8)



□ V パッド タム用 (PDX-6A × 3)



□ ドラム音源ホルダー



□ ペダル・プレート



□ マウント・ホルダー (ペダル・プレート用)



□ ドラム音源 (TD-1)



□ 接続ケーブル



□ AC アダプター

※ PDX-6A は、TD-1DMK オリジナルのパッドです。
リム・ショットには対応していません。

□ セットアップ・ガイド (本書)
□ 取扱説明書セット
□ ドラム・キー
□ ローランド ユーザー登録カード

02

ドラム・スタンドを組み立てよう

※ 当ドラム・スタンドを長期間同じ場所で使用されるときは、ゴム底の設置面への汚れ付着等の影響を防ぐため、当社製品のドラム・マット (TDM シリーズ) を使用されることをお勧めします。

ご注意!

- スタンドの設置や調整をするときは、可動部と本体の間に指をはさまないように注意してください。お子様のいる場所で使用するときは、必ず大人のかたが監視／指導してください。
- 安全に作業できるスペースを確保してください。
- 電動工具を使用して組み立てないでください。ネジが空回りする恐れがあります。



1. キック用部品の取り付け

1-1. 本体右側 (ホルダー 1 個付き) のパイプに付いているキャップを取りはずします。

1-2. キック・パッド、マウント・ホルダー (ペダル・プレート用) を差し込み、図のような向きに合わせて仮止めします。

1-3. キャップを元に戻します。

1-4. マウント・ホルダーにペダル・プレートを取り付けます。

2. 左右アーム部分の組み立て

左右アーム部分は、床に寝かせた状態で組み立ててください。

左アーム部分

2-1. ストレート・パイプ L (長) のホルダーのボルトをドラム・キーで緩め、カーブ・パイプを差し込みます。

このときの目安として、パイプに付いているガイド穴がホルダーのすき間から見えるようにカーブ・パイプを差し込みます。奥まで確実に差し込んでから、ドラム・キーでボルトを強く締めます。

2-2. ドラム音源ホルダーのボルトをドラム・キーで緩めてからドラム音源ホルダーをストレート・パイプ L (長) に取り付け、ボルトを締めます。

右アーム部分

2-3. ストレート・パイプ R (短) のホルダーのボルトをドラム・キーで緩め、カーブ・パイプを差し込みます。

このときの目安として、パイプに付いているガイド穴がホルダーのすき間から見えるようにカーブ・パイプを差し込みます。奥まで確実に差し込んでから、ドラム・キーでボルトを強く締めます。

2-4. ストレート・パイプ R (短) の先端が 7cm 出た位置でホルダーを締めます。

3. 左右アーム部分を本体に取り付ける

3-1. ドラム・キーで本体左側のパイプ (ホルダー 2 個付き) に付いているホルダー A のボルトを緩め、手順 2 で組み立てた左アームを、本体のホルダー A に差し込みます。

このときの目安として、パイプに付いているガイド穴がホルダーのすき間から見えるようにカーブ・パイプを差し込みます。奥まで確実に差し込んでから、ドラム・キーでボルトを強く締めます。

3-2. 本体右側のパイプに付いているホルダー B を、図の位置まで下げます。

3-3. ドラム・キーでホルダー B のボルトを緩め、手順 2 で組み立てた右アームを、本体のホルダー B に差し込みます。

このときの目安として、パイプに付いているガイド穴がホルダーのすき間から見えるようにカーブ・パイプを差し込みます。奥まで確実に差し込んでから、ドラム・キーでボルトを強く締めます。

4. スネア・パイプの取り付け

4-1. ドラム・キーでホルダー C のボルトを緩め、スネア・パイプを本体のホルダー C に差し込みます。奥まで確実に差し込んでからドラム・キーでボルトを強く締めます。

スネア・パイプは、キャップのないほうをホルダー C に差し込んでください。

5. 縦パイプの調整

5-1. 本体を立て、ホルダー A、B のハンド・ノブ (2 箇所) を緩めて左右のパイプを開きます。

5-2. 4 本の縦パイプが確実に垂直になっているか確認します。

ぐらつく場合は、ストレート・パイプ L (長)、R (短) のホルダーのボルトを緩めて高さを調節します。高さを調節したあとで、ホルダーのボルトを締めます。

6. パッド・マウントの取り付け

マウントの先端はとがっています。取り扱いに注意して作業してください。

6-1. 本体上部にマウント・ホルダーを取り付け、それぞれのハンド・ノブを締めます。

6-2. マウント・ホルダーにパッド・マウントを取り付け、それぞれのハンド・ノブを強く締めます。

6-3. スネア・パイプにマウント・ホルダーを取り付け、ハンド・ノブを締めます。

6-4. マウント・ホルダーにパッド・マウント (メモリー・クランプ付き) を取り付け、ハンド・ノブを締めます。

右アーム

6-5. マウント・ホルダーにパッド・マウントを取り付け、ハンド・ノブを締めます。

7. シンバル・マウントの取り付け

7-1. ハイハット、ライド用のシンバル・マウント (短) とクラッシュ用のシンバル・マウント (長) をカーブ・パイプのホルダーに差し込み、図のようにすべてのホルダーを調整して完成です。

左利き用に組み立てる場合

左利き用にする場合は、以下のように組み立ててください。

- 本体のパイプに付いているホルダーが、右側 2 個左側 1 個になるように付け替える。
- キック・パッドとペダル・プレートを本体左側に取り付け。
- ストレート・パイプ R (短) が左側、ストレート・パイプ L (長) とドラム音源ホルダーが右側になるように左右アーム部分を組み立て、本体に取り付ける。
- スネア・パイプを本体右側に取り付け。
- パッド・マウントとシンバル・マウントを、図のように取り付け。

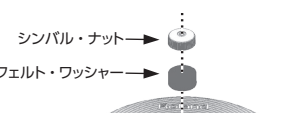
03

各パーツを取り付けよう

ご注意!

ハイハット・コントロール・ペダル、キック・ペダル、シンバル・パッドを操作するときは、可動部と本体の間に指をはさまないように注意してください。お子様のいる場所で使用するときは、必ず大人のかたが監視／指導してください。

ハイハット／クラッシュ・シンバル／ライド・シンバル (CY-5) を取り付け



シンバル・ナット
フェルト・ワッシャー

1. ドラム・スタンドに付属のシンバル・ナットとフェルト・ワッシャーを使って取り付けます。

2. (ハイハット):
パッドを叩いたときに、ぐらつかない程度にシンバル・ナットを締めます。
(クラッシュ／ライド・シンバル):
適度な揺れが得られるように、シンバル・ナットを締めます。

ドラム音源 (TD-1) を取り付け

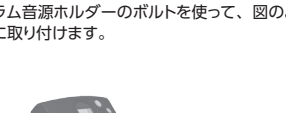


「Roland」の文字を演奏者から見て奥側に

※ 両端のスタンド脚パイプの距離を 1.2m 以上離さないでください。



ドラム音源 (TD-1) を取り付け



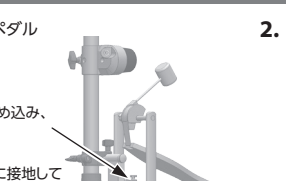
ドラム音源ホルダーのボルトを使って、図のように取り付けます。

※ PDX-8 (スネア) を取り付けるときは、表面の「メモリー・クランプについて」をご覧ください。



キック・ペダルを取り付ける

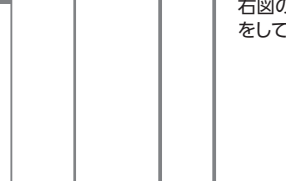
1. ペダル・プレートに、キック・ペダルを取り付けます。



2. キック・ペダルを踏んだときにピーターがキック・パッドの中心に当たるように、キック・パッドとキック・ペダルの位置を調整します。



3. キック・パッドとキック・ペダルの位置が決まったら、ハンド・ノブを締めて固定します。

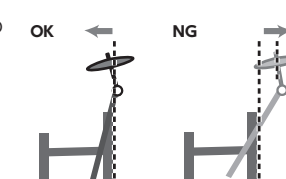


シンバルの位置調節

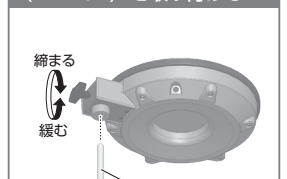
シンバルの最も高い部分が 1.2m 以下になるように、ロッドの高さを調節してください。



シンバルの中心が、本体のパイプ (スタンドの一番後ろ側のパイプ) よりも後ろにはみ出さないように取り付けてください。



スネア (PDX-8) とタム (PDX-6A) を取り付け

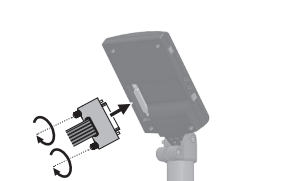


04

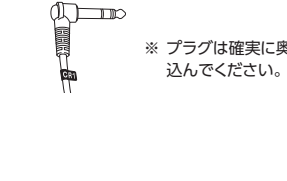
パッドとドラム音源 (TD-1) を接続しよう

接続の手順

1. 接続ケーブルを図のように TD-1 に接続します。
コネクターを奥まで差し込み、つまみを回して固定してください。



2. ケーブルには、接続するパッドを示したシールが貼られています。図を参考に接続してください。



※ ケーブルは、演奏の妨げにならないように、ケーブル・クリップとケーブル・タイを使って固定してください。
ケーブル・タイは、必ずパイプに巻き付けてください。

※ プラグは確実に奥まで差し込んでください。

※ 別売の CY-5 と MDY-12 を使って、シンバルを増設するときに接続します。増設しないときは、「CR2」は使用しません。キャップを付けたまま、演奏の妨げにならないように固定してください。

背面から見た図

05

AC アダプターやスピーカーを接続しよう

「TD-1 取扱説明書」を参考にして、AC アダプター、スピーカーやヘッドホンを接続します。

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

左利き用のセッティングにする場合

「02 スタンドを組み立てよう」の「左利き用に組み立てる場合」に従ってドラム・スタンドを組み立て、右図のように各パーツの取り付けとケーブルの接続をしてください。

背面から見た図

※ 別売の CY-5 と MDY-12 を使って、シンバルを増設するときに接続します。増設しないときは、「CR2」は使用しません。キャップを付けたまま、演奏の妨げにならないように固定してください。

これで、組み立てと接続が完了しました。
■ 接続が完了したら「TD-1 取扱説明書」の手順に従って電源を入れ、音が鳴るかを確認してください。

各パーツの詳しい説明

■ メモリー・クランプについて

メモリー・クランプは、パッドを取り付ける際に、一定の取り付け高さに合わせるためのものです。出荷時は、ドラムを安全にお使いいただくための推奨位置に取り付けてあります。

ご注意！

PDX-8（スネア）の位置を調整するために、メモリー・クランプの取り外しや移動をするときは、ロッドの飛び出し量が大きくなるときがありますので、接触によるケガにご注意ください。

■ ツイン・ペダルを使う場合

図のように、左右のビーターがパッドの中心から等しい距離になるようにセットしてください。ビーターの位置がずれると、片方のペダルの音が小さくなったり、正しく発音しなかったりすることがあります。

また、ツイン・ペダルを使用した場合、シングル・ペダルに比べて、感度が低くなります。音源側の感度を上げてください。

詳しくは、「TD-1 取扱説明書」をご覧ください。

正しい設置例

悪い設置例

■ CY-5（ハイハット／ライド／クラッシュ）

CY-5 各部の名称

ご注意！

ご使用の年月とともに、パッドのゴム表面が変色することがありますが、使用上には影響ありません。

■ PDX-8（スネア） ■ PDX-6A（タム）

各部の名称

ご注意！

- ご使用になる前に、必ずヘッドの張り具合を調節してください。
- PDX-6Aは、TD-1DMKオリジナルのパッドです。リム・ショットには対応していません。

ヘッドの張り具合を調節する

PDX-8

PDX-6A

1. それぞれのチューニング・ボルトを、図のように対角線を結ぶ順に少しずつ調節します。

張り具合は、アコースティック・ドラムの打感触と同じくらいが適切です。

2. 必要に応じて、ドラム・キーで張り具合を調節します。

■ ハイハット・コントロール・ペダル

安全上のご注意

火災・感電・傷害を防止するには

△ 警告と △ 注意の意味について

警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表しています。

図記号の例

△	は、注意（危険、警告を含む）を表しています。具体的な注意内容は、△の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
⊘	は、禁止（してはいけないこと）を表しています。具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
●	は、強制（必ずすること）を表しています。具体的な強制内容は、●の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を必ず守ってください

注意

スタンドを使う前に安全を確認する

取扱説明書に記載の注意事項が守られていても、取り扱いによってはスタンドから本機が落下したりスタンドが転倒したりする可能性があります。使用にあたっては事前に安全を確認した上でお使いください。

移動するときの注意

本機を移動するときは以下のことを確認したあと、必ず2人以上で水平に持ち上げて運んでください。このとき、手をはさんだり、足の下に落としたりしないように注意してください。

- ノブ・ボルトやネジがゆるんでいないか確認する。ゆるんでいる場合は、しっかり固定する。
- 電源コードをはずす。
- 外部機器との接続をはずす。
- キック・ペダルをはずす。
- ハイハット・コントロール・ペダルの接続ケーブルをはずす。

注意

指などをはさまないように注意する

下記の可動部を操作するときは、指などをはさまないように注意してください。お子様如果使用されるときは、大人のかたが監視／指導してください。

- ハイハット・コントロール・ペダル
- キック・ペダル
- シンバル・パッド裏側（図参照）

小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様がついて飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。

- 付属品
- シンバル・ナット
- 取りはずしが可能な部品
- ネジ類
- CR2 プラグのキャップ

使用上のご注意

設置について

・設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。

修理について

・当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとでも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

・本機は、演奏時の打撃音を小さくする設計になっていますが、床や壁を避けての振動は意外によく伝わります。特にヘッドホン使用時の演奏は、隣近所に迷惑がからないように注意しましょう。

・打面部のゴム部品には、性能維持のために劣化防止剤などを塗布してあります。時間経過に伴い、これらの添加剤が表面に現れて、白く汚れたように見えたり、製品検査時のステック数が見えたりする場合がありますが、製品の性能や機能には影響ありませんので、安心してお使いください。

・ご使用の年月とともに、パッドのゴム表面が変色することがありますが、使用上影響はありません。

・本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

使用上のご注意

- 知的財産権について
- Roland、V-Drums は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
 - 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

- 修理について
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとでも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

- その他の注意について
- 本機は、演奏時の打撃音を小さくする設計になっていますが、床や壁を避けての振動は意外によく伝わります。特にヘッドホン使用時の演奏は、隣近所に迷惑がからないように注意しましょう。
 - 打面部のゴム部品には、性能維持のために劣化防止剤などを塗布してあります。時間経過に伴い、これらの添加剤が表面に現れて、白く汚れたように見えたり、製品検査時のステック数が見えたりする場合がありますが、製品の性能や機能には影響ありませんので、安心してお使いください。
 - ご使用の年月とともに、パッドのゴム表面が変色することがありますが、使用上影響はありません。
 - 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。